

まちづくりフォーラム

残念なところもあるけれど、やっぱり

かみふっていいいな...♡

vol.2

2018

2/19

月曜日

18:30~

会場：保健福祉総合センターかみん多目的ホール

※ 事前に町民生活課自治推進班へお申し込みください

かみふって
何にもないなあ



かみふでの生活
マジつまんない

そんなあなたの“かみふ生活”が
楽しくなるヒントがここにある!!

(と思います)



◎コーディネーター



地域社会の現場でフィールドワークを中心としたまちづくりコーディネーター業を長く営んできた経験をベースに、近年の地域活性化のあり方を研究。それぞれの地域環境に合ったハードとソフト両面からの地域再生計画づくりと、計画実現に向けた効果的手法について調査・研究を重ねる。

北海道科学大学未来デザイン学部人間社会学科

濱谷雅弘 教授

◎パネリスト

4人のパネリストの取り組みから、
“かみふのいいところ”を考えます



凌雲閣に隣接する休眠状態だった宿泊施設「上富山荘」を約30年ぶりに復活させ、昨年12月にオープン。将来的には十勝岳連峰の成り立ちや見どころ、気象や地形などの情報センターのほか、山を案内するガイドセンターの機能を備えた登山基地としての施設づくりをめざす。

かみふの山の魅力を伝えたい 「上富山荘」復活

十勝岳温泉 湯元 凌雲閣 青野範子さん



「小さな街の手仕事市 ～秋の贈り物～」のタイトルで昨年9月に行われた「かみふらのまるしえ」。手づくりの洋服やアクセサリーなどの雑貨を求めて約1,000人が来場。つくり手、ほかの出店者、来場者がふれあう交流の場として「町全体で盛り上げられるイベントにしたい」と話す。

町内に広げよう交流の輪 「かみふらのまるしえ」

かみまる実行委員会会長 嶋崎貴子さん



かみふらの開基120年に際して製作された、地域の歴史を後世に伝える手づくり紙芝居「十勝岳だいふんか ～未来へつなげよう～」の作画を担当。絵画教室「傘の樹」を運営し、童心画家としても活動。所属する「ムーミン」では子どもたちに絵本の楽しさを伝える活動も行う。

手づくり紙芝居で地域の歴史を未来につなぐ

読みきかせ会ムーミン事務局長 菅井茂樹さん



かみふらの軽トラ市が今年度から実施している「みっけマルシェ」の担当として、農業者ならではの発想と感性でイベントを企画。「見つける 見つかる かみふらのの好き」をテーマに、異業種とのコラボにより魅力あふれる地域資源の発掘・創造に意欲的に取り組んでいる。

かみふのいいところみっけよう 「みっけマルシェ」

かみふらの軽トラ市 みっけマルシェ担当 安丸千加さん

「かみふらのまるしえ」「みっけマルシェ」は上富良野町協働のまちづくり推進補助金、「十勝岳だいふんか」製作事業はまちづくり活動助成事業補助金(現 協働のまちづくり推進補助金)を活用して実施されました。

主催 上富良野町、上富良野町協働のまちづくり推進委員会
問合せ 上富良野町役場町民生活課自治推進班 ☎ 6985